

太宰府市第百十八回俳句ポスト入選者

令和五年二月十四日〜令和五年五月五日

選者 阿比留 初見

入選句

たまゆらの日差しに応へ梅かおる	佐賀県	古庄	たみ子
春めくや薄もも色の餅ひとつ	茨城県	明賀	靖子
スケッチの子等に声かけ土手うらら	筑紫野市	笹倉	裕子
曲水の果てて華やく帰り道	福岡市	野口	久美子
晴れわたる令和の里の花吹雪	太宰府市	西元	治雄
朝光を抱き天神さまの梅	小郡市	斎田	日奈江
カーテンの透間にもるる雪あかり	太宰府市	吉嗣	知子
たんぽぽと云うてかがむ児風やさし	大野城市	北	嘉与子
老梅の枝のうねりにうねる影	福岡市	椎木	利子
梵鐘の古刹を巡り春を詠む	筑紫野市	寒竹	賢次
沢瀉の乱るる白や風軽し	福岡市	阿部	弘子
面影を偲ぶ紅梅お石茶屋	福岡市	馬場	君江
天神の梅に遊びて寿	福岡市	吉武	草径
咲き増えて宴待つ曲水庭の梅	筑紫野市	多田	蒼生
ポケットに硬貨鳴らして初詣	筑紫野市	山本	耕一
春休みいこと楽しい遊園地	東京都	高瀬	理子
ゴトカートこいで春の遊園地	福岡市	さとوراお	十歳
参道で片方だけの手袋だ	久留米市	伊達	壮志
駅を出てはじめに香る梅の花	兵庫県	笹	結終
寒晴れや微笑みかける学の神	久留米市	堤	歳三
			十五歳